

## 海外安全対策情報第1四半期（4月～6月）

### 1. 社会・治安情勢

6月上旬、統一個人ID番号法改正案が議会で採択されないことに対する抗議デモが発生した。これは、本年2月に個人ID番号に関する旧法が憲法裁判所により違憲無効との判決が下され、それ以降に産まれてくる新生児には、パスポートや健康保険証等の発行に必要な個人ID番号を与えられない状態が問題となったためである。当初数十人であったデモの規模は、ソーシャルネットワークを通じて最終的には数千人もの規模へ拡大し、一時デモ隊が議会内にいる議員等を外に出さぬよう議会及び隣接する政府庁舎内の入口を封鎖する事態にまで発展した。その後事態は収束するも、同法に関する問題未だ解決されておらず、今後も抗議デモが発生する可能性がある。

また、4月～5月には退役軍人による退職金未払い等に関する抗議デモや、公共交通機関の従業員による待遇改善を求める抗議デモ、タクシードライバーによるストライキ等の小規模な抗議活動が散発的に発生しているが、いずれも平和的に終えている。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

サラエボ市内では強盗事件や発砲事件がほぼ毎日のように発生しており、手榴弾等による爆破事件も散発的に発生している状況である。また、窃盗事件は特に多く、下記3.のとおり、4月～6月に日本人観光客及び在留邦人がサラエボ市内及びモスタル市内の観光地でスリ被害に遭う事案が多発しているため、注意が必要である。

### 3. 邦人被害事案

- (1) 4月上旬、平日午前10時半頃、在留邦人がサラエボ市内の国立博物館辺りでトラムから降車しようとした際、両隣にいた女性と男性の2人が同邦人を挟むようにして降車を阻止してきた。同邦人は、右隣にいた男が財布と旅券が入ったズボン右ポケットに手を入れてきたのに気づいたため、男の手を振り払い直ぐさま降車した。被害品はなく、怪我もなかった。
- (2) 4月下旬、平日午後1時半頃、在留邦人がサラエボ市内のチト一元帥通りを歩いていたところ、同通りが混雑していたこともあり、男性とぶつかった。あとで鞆の中身を確認したところ、財布が盗まれていたことに気づいた。
- (3) 4月下旬、邦人団体ツアー客がモスタル市内を観光中、旧市街にあるスターリ・モスト（橋）で2名がパスポートを盗まれ、1名が財布を盗まれた。
- (4) 5月中旬、平日午後3時頃、団体ツアーに参加していた邦人旅行客がモスタル市内の観光地であるスターリ・モストを観光後、バッグの中身を確認したところ、パスポート及び現金が盗まれているのに気づいた。
- (5) 6月上旬、平日午前12時30分頃、在留邦人が友達数名とラテン橋を渡り、聖心大聖堂近

くのレストランへ到着後、背負っていたリュックサックを確認したところ、チャックが開いていることに気がついた。リュックの中身を確認したところ、現金及びクレジットカード類等が入った財布が盗まれていた。

(6) 6月上旬、休日午後9時頃、邦人個人旅行者がフェルハディア通りにあるATMで現金を引き落とした後、付近にあったドラッグストアに入り、買い物をしようとしたところ、背負っていたリュックサックのファスナーが開いていることに気がついた。リュックの中身を確認したところ、現金及びカード類等が入った財布が盗まれていた。

(7) 6月上旬、平日午前11時45分頃、団体ツアー参加の邦人旅行者が、モスタル市内のフランシスコ会修道院の観光を終えた後、そこから付近のレストランまで徒歩で移動し、到着後にリュックサックを確認したところ、チャックが開いていることに気がついた。リュックの中身を確認したところ、パスポート、クレジットカード及び現金が盗まれていた。

#### 4. 邦人以外の被害事案

(1) 4月上旬、市内を走るトロリーバス内で強盗事件が発生。犯人の男は乗客を襲い、携帯電話及び身につけていたブレスレットを奪って逃走した。

(2) 4月中旬、平日午後1時30分頃、サラエボ市内を走行していた車両が何者かに銃撃される発砲事件が発生。車両を運転していた男性は重傷を負った。

(3) 5月中旬、平日午後2時頃、サラエボ市内の観光地バシチャルシヤ内の路上で、スペイン人女性が襲われる強盗事件が発生。犯人の男はナイフで女性を脅し、携帯電話を奪って逃走した。

(4) 6月上旬、平日午後11時30分頃、サラエボ市内の路上を歩いていたドイツ人が襲われる路上強盗事件が発生。犯人は携帯電話を奪って逃走した。

(5) 6月中旬、平日午後11時30分頃、サラエボ市内の聖心大聖堂裏の通り、ムーラ・ムスタフェ・バシエスキエで発砲事件が発生。バイクを運転していた犯人は、同通りを車両で走行していた男性運転手に向けて発砲した。

(6) 6月中旬、トゥズラ市内にあるショッピングセンター「Robot」の近くで発砲事件が発生し、この事件により1人が死亡、4人が負傷した。事件現場では数百発の発砲があり、2つの犯罪組織による抗争が原因と見られている。

#### 5. テロ・爆弾事件発生状況

(1) 4月上旬、平日午前2時頃、サラエボ市内にあるコシェボ病院の元院長の住宅に手榴弾が投げ込まれる爆破事件が発生。負傷者はいなかったが、この爆破により同住宅の車庫が損傷した。

(2) 6月中旬、サラエボ市内のホテル・セントラル付近にあるカフェ店「Cheers」前で、何者かが催涙弾を爆破させる事件が発生。催涙弾の影響を受けた数名が病院で治療を受けた。

6. 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。